

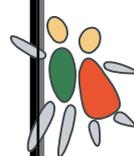
千代田界隈のレトロな風景



どくだみの花

八重の花を発見。なにかいいことあるのかな？

みどりの風



2022.7.1

-NO.286-

人・ひと日記

小林 功

発行 社会福祉法人 悠朋会

千代田 デイサービスセンター 2・4・1

042-751-0672

ヘルパーステーション 千代田

042-704-0261

千代田 介護支援センター

042-704-0281

児童クラブ いちばん星

080-5865-1586

ホームページアドレス

www.yuhokai-kaigo.com

何を考えているか分からない人（たち）に権力を持たせると
とんでもないことになってしまう。まさかと思っていたことが
本当に起きてしまう。長く続くわけがないことがどんどん進行
してしまふ。ロシアがウクライナで行っていることはもう四か
月になるうとしています。数万人にのぼる犠牲者。数百万人と
言われる避難民。都市や住宅の徹底破壊、穀物の流通経路の遮
断による食糧危機。戦争が起きることとはこういうことなので
しょう。プーチンは正義の戦いとうそぶくこの侵攻に何を描い
ているのでしょうか。

日本の憲法は権力者（たち）の暴走から国民を守る国の骨組
みとされています。今、社会の行き詰まり感、ロシアのウク
ライナ侵略、中国や北朝鮮の動き、新型コロナウイルスの蔓延など
を口実に国民の権利を削り、憲法を変え、日本を戦争が出来る
国にしようとする動きや発言が湧いてきているように感じ
ます。兵器の装備予算を2倍にして他国並みにすることも議論
されています。アメリカの核兵器を共有しようという意見もあ
るようです。攻撃されたら反撃する。攻撃される前に攻撃する
・・・抑止の目的で武器を保有すると主張しても周辺国が自分
たちを攻撃する能力を持つと受け止めるのは当然でしょう。
時代に合わないと言う人はいるけれど、日本を守る方法は平
和憲法を堅持し、「日本は戦争はしない」と言い続けることし
かないと思います。

ほとんど注目されなかったビワの木に今年はそれなりに実が
付きました。形や味は売っているものとは比べ物になりません
が生っているものを手で取って食べる贅沢は売ってはいくれませ
ん。この木は子供たちの誰かが自分で食べた実の種を埋めてお
いたものと思われかれこれ二、三十年。今年は孫がその気にな
ったらしく小さな種を四つ持って帰りました。

父の日 ~Happy father's day♪~

6月19日(日)は父の日でした☆

おかげさまで千代田デイサービスセンターは男性の方もとても多く利用されています。曜日によっては女性より男性の方が多いなんて言う日も珍しくありません！

母の日に比べると父の日は存在感が薄くて、、、
なんて言わせません！！

父の日当日にご利用されたお父様方にはお手製の父の日ギフトをお渡しさせていただきました♪



千代田のパワフルな女性利用者さまにも負けない頼もしい男性陣！

ご家庭だけでなく千代田デイサービスセンターの大黒柱としてこれからも頼りにしています♪



七夕
書道
体重測定
誕生会

7日(木)
14日(木)、29日(金)
4日(月)～10日(日)
25日(金)～31日(木)





こんにちは 千代田のヘルパーです!!



「僕の名前は来夢（ライム）」



ヘルパーステーション千代田の金森です。

コロナ禍と騒がれ始めて早くも2年以上が経過し、少しずつ生活も変化が現れてきました。

そんなコロナ禍で2年前から犬を飼い始めました。

ヨークシャーテリアの雄で名前は来夢（ライム）です。

コロナが騒がれ外出が出来ない日々が続いたことと、娘の長年の犬を飼いたいという夢が重なり（ペットショップでの一目惚れでした）、来夢を家族に迎え入れました。

飼い始めた頃はトイレのしつけができなかったり、フードを全然食べなかったりと分からない事ばかりで、スマホで情報収集しながら毎日一喜一憂する日々でした。

今では食べた後でも『まだ欲しい!』とねだって来るほどの食いしん坊です(笑)。

休日には足を延ばして離れた公園にも連れていきます。

乗り物酔いをするので、自転車のカゴでバックから顔を出して、風にあたりながらご機嫌で行きます。北公園はワンちゃんも多く、色とりどりの花が咲いていて景色も良いので、私も楽しみに連れていきます。

今の季節は紫陽花が綺麗で、数多くの種類が咲いていて素敵です。

来夢のおかげで私自身の行動範囲も広がり、運動不足の解消にもなっています。

これからも来夢と共に面白おかしく♪暮らしていけたらな~と願っています。



ヘルパーステーション千代田 金森佳奈子



新人職員紹介



吉本 倫子

最近始めたこと
キックボクシング

6月1日よりケアマネジャーとして勤務しております吉本倫子(よしもとりんこ)と申します。生まれから学生時代までは相模原で生活していました。その後群馬県桐生市で暮らしており、約30年ぶりに相模原へ帰ってまいりました。今までいた群馬県は山が近く、早朝にはイタチやタヌキと遭遇することも珍しくありませんでした。それと比べて相模原は政令指定都市として72.5万人の方が暮らす大都市と発展しており、子供の頃の印象とは大きく変わりその変化を肌で感じ驚いております。

千代田介護支援センターの経験豊かな先輩方の御指導の下、安心して学ばせていただくことができ日々充実しております。ご利用者様に寄り添いながらご支援させていただきたいと思っております。これからも精進してまいりますのでどうぞ宜しくお願い致します。

ご無沙汰しております！

「すけっと nishimon」の渡辺です！(^ ^)！

ヘルパーステーション千代田で10年間勤務させて頂いておりました渡辺です。R2.4月に西門商店街アーケード内に障害者就労継続支援B型「すけっと nishimon」を開業し、お陰様で3年目を迎えることが出来ました。



渡辺代表と看板犬のパッシュ君

ヘルパーステーション千代田ではサービス提供責任者や相談支援相談員の業務に当たらせて頂いておりましたが、ここでの全ての経験を活かして今の事業をさせて頂いております。ヘルパーは利用者様のご自宅に伺わせて頂くので”身近な支援者”として関わらせて頂くことが出来ました。利用者様が日常を過ごされている空間の中で、世間話を交えながらの活動は私にとって刺激的な日々でした。様々な場面で多くの事を感じ、考え、学び、意見を持たせて頂いた事を大変感謝しております。



すけっとの活動の様子 当法人でも送迎車やヘルパー車の洗車をお願いしており、丁寧に活動してもらっています。

「すけっと nishimon」では障害をお持ちの方、ご高齢の方などに生産活動や作業提供をさせて頂いております。介護保険施設の清掃やリネン交換、福祉車両の洗車、裁縫作業や内職などが主な活動です。お得意な事に取り組んで頂いたり、初めての事に挑戦して頂きながら毎日を仲間同士で助け合い元気に活動しています。

”助けられることもあれば、助けることもできる”がすけっと nishimon の合言葉です。お一人で抱え込まず仲間と過ごすだけで少し生活が豊かになる、居心地の良い小さな社会、そんな場所にしていきたいと思っています。

西門商店街は1952年（昭和27年）グリーンバザール西門開業を機に大変賑わった商店街と聞いています。今後は西門商店街の歴史に触れられるような活動もしていきたいと考えております。皆様、お買い物の際には是非「すけっと nishimon」にもお立ち寄り下さい。そしてかつての西門商店街について教えて頂けると嬉しいです。